**計量制度運営等貢献者の自薦書記載要領**

**（局長表彰）**

一般計量士又は環境計量士であって、計量制度の運営等に特に貢献したと自認する者（具体的には、計量管理に従事し、その普及に貢献した者、検定、検査など計量法の執行において計量行政に貢献した者及び計量制度の普及、広報等の計量行政に貢献した者など）は、添付の自薦書を記入して提出してください。

記

１．記載方法

　　記載例に従って記載すること。

　　また、6.(3)②、6.(5)①、6.(5)②及び6.(5)⑥のうち、２項目以上は必ず記載すること。

**【記載例】**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 令和6年○月○○日  その他の計量制度運営等貢献者自薦書    　計量制度運営等貢献者に自薦します。  太枠内に記載する。  記  １．氏名  　自身の氏名を明確に記載し、「ふりがな」を必ず付し、通称又は仮称及び略字の氏名を記載しない。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | １．氏名 | 物象　量太郎 |  | | （ふりがな） | ぶっしょう　りょうたろう |  | | ２．生年月日 | 19xx年　xx月　xx日  ２．生年月日  　自身の生年月日は正確に記載し、満年齢は自薦する年の11月1日現在で記載する。 |  | | 令和6年11月1日現在年齢 | xx歳 |  | | ３．現住所 | 〒xxx-xxxx  ３．現住所及び連絡先電話番号  　自身の現住所を記載し、郵便番号（〒xxx－xxxx）を記載する。また、連絡用の電話番号を必ず記入する。  ○○県○○市○○区○○　xx-xx-xx |  | | 連絡先電話番号 | xxx-xxx-xxxx |  | | ４．主要勤務先名称 | ○○○ | ４．主要勤務先名称・所在地・連絡先電話番号  　企業に所属する場合はその企業名、団体に所属する場合はその団体名、公務員の場合はその機関名とそれぞれの所在地及び自薦者本人との連絡用の電話番号を記載する。  　なお、上記の主要勤務先を退職又は退任し、他の企業、団体及び機関等に就職などをした場合は、その名称と所在地を（　　）を付して併記する。 | | 所在地 | 〒xxx-xxxx  ○○県○○市○○区○○　xx-xx-xx  （〒xxx-xxxx  ○○県○○市○○区○○　xx-xx-xx） |  | | 連絡先電話番号 | xxx-xxx-xxxx |  |      |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | ５．経歴（表彰要項第３項（１）） | | | ５．経歴（表彰要項第３項（１））  ○職務履歴・団体役員歴  左記のように記載する。  「現在まで」とは､自薦する年の3月31日とする。  ○表彰歴  自身及び自身に係る企業、団体等の過去における計量関係の受賞について、本人、企業、団体等の区分により受賞年月日順に受賞名、その内容及び表彰者名（個人名は省略可）を記載する。 | | 職務履歴 | 団体役員歴 | 表彰歴 |  | |  |  |  |  | | △△△△(株)(現□□□□(株))  ○○部門に従事  xxxx年xx月からxxxx年xx月まで  (xx年xx月)  ○○○○(株)  執行役員  ○○研究所○○長  xxxx年xx月からxxxx年xx月まで  (xx年xx月)  ○○○○(株)  常務執行役員  ○○研究所副所長  xxxx年xx月から現在まで  (xx年xx月)  合計xx年xx月  (参考)  xxxx年xx月 △△△△(株)から□□□□(株)に社名変更  特許等  　特許等（特許、実用新案等）の一覧は、末尾に添付の様式を用い、別紙（別ページ）として作成する。 | (一社)○○○○協会  理事  xxxx年xx月からxxxx年xx月まで  (xx年xx月)  (一社)○○○○協会  副会長  xxxx年xx月からxxxx年xx月まで  (xx年xx月)  (一社)○○○○協会  会長  xxxx年xx月からxxxx年xx月まで  (xx年xx月)  合計xx年xx月 | 経済大臣表彰  （なし）  他大臣表彰  （なし）  知事表彰  xxxx年　○○学会　○○表彰  市町村長表彰  （なし）  全国団体表彰  xxxx年　○○団体　○○表彰  地方団体表彰  （なし） |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 特許等 | 公職 | 産総研等研修講師 | 全国計量行政会議  常設委員会委員 |  | | ６. (2) ①関係 | ６．(5) ⑤関係 | ６．(5) ③関係 | ６．(5) ④関係 |  | |  |  |  |  |  | | （別表） | 計量行政審議会臨時委員  xxxx年xx月からxxxx年xx月まで  (xx年xx月)  合計xx年xx月 | 産総研○○講習　講師  xxxx年xx月からxxxx年xx月まで  (xx年xx月)  合計xx年xx月 | 全国計量行政会議　委員長  xxxx年xx月からxxxx年xx月まで  (xx年xx月)  合計xx年xx月 |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | | ６．具体的な貢献の内容 | | ６．具体的な貢献の内容  　　自薦書の具体的内容については、該当するそれぞれの細項目（例えば、(1)①など）ごとに、その細項目の見出しに合致する貢献について要点がわかるよう具体的に「いつ頃（始期と終期の年を明記する。）、何を行い、その結果計量器の発達、改善にどのように貢献したか」、「いつ頃（始期と終期の年を明記する。）、何を行い、その結果計量思想の普及等にどのように貢献したか」等の形式を使って箇条書きで記載する。  　また、必要に応じ具体的な貢献の内容を説明した資料や根拠を添付する。  　抽象的、情緒的な記述及び冗長な記述は避ける。  　当該項目に該当する貢献がない場合は、空欄のままとする。（記載欄を削除しない。） | | (1)計量器関係事業の発展 | |  | |  | 1. 企業における事業拡大（売り上げ以外の点も含めて）等に寄与したこと。 |  | | 良い例：  　所属企業（○○○（株））において、xxxx年xx月～xxxx年xx月まで○○部の部長として、計量器の販路拡大を目的として○○を行った結果、売上げが年間ベースで○％増になった。  良い例：  　具体的な時期、役職名、取り組み内容、結果を記入する。  　また、組織又はチーム等で成し遂げた功績・結果も重要であるが、その過程で自薦者本人が組織・チーム等の中でどのような役割を担ったのか、自薦者本人の活躍に焦点を当てて記載することが望ましい。  悪い例：  具体的な時期、役職名、取り組み内容の記入がない。  「事業の拡大に寄与」だと、何がどのくらい拡大したのか分からない。  悪い例：  　所属企業の○○部において、分かりやすい資料の作成や、他の地域に対しても広く広報することで事業の拡大に寄与した。 |  | | ②　計量標準の供給・維持、計量器の校正等に多年従事し、その普及に貢献したこと。 |  | |  |  | | ③　計量関係団体等の活動において、組織の運営や財政の強化、事業内容の拡大強化、他都道府県の計量関係団体等との連携などに貢献したこと。 |  | |  |  | | ④　計量標準（JCSS〈計量トレサービリティ制度〉等）関連事業に貢献したこと。 |  | |  |  | | ⑤　計量証明事業に貢献したこと。 |  | |  |  | | ⑥　上記①から⑤以外の計量器関連事業の発展に寄与したこと。 |  | |  |  | | (2) 計量器の発達、改善  (2) 計量器の発達、改善  ①　計量器の発明、考案又は改良については、特許又は実用新案等の取得があること。  該当する場合は、（別表）として、特許等の件名、所得年月日及び番号を、その他の場合はその内容を記載する。  　特許等の取得が自薦者本人個人に係るものは「本人」、自薦者本人の指示による企業などに係るもの又は企業などの指示よる自薦者本人に係るものは「企業」などと区分して記載する。  　計量関係以外の発明等は、含めない。 | |  | |  | ①　計量器の発明、考案又は改良については、特許又は実用新案等の取得があること。 |  | |  |  | | ②　技能訓練センター等の講師等として、計量器の操作技能の指導に貢献したこと。 |  | |  |  | | ③　企業内において卓越した技術を有し、指導的立場で技能の伝承に貢献したこと。 |  | |  |  | | ④　上記①から③以外の計量器の発達、改善に貢献したこと。  良い例：  　できる限り具体的な時期、講習会名を記載し、どの程度の規模感で開催されていたのか等を記入する。講習会の実施内容に工夫があれば、その内容について詳細に記入してもよい。  　また、その講習会の受講によって、受講者のその後にどう影響したのかも記載できると非常によい。（例えば「受講者の○○％が計量士資格を取得した。」など）  悪い例：  　具体的な時期、講習会名、規模などの記載がない。また、「高い満足度を得た」だけでは、何がどう評価されているのかが分からない。  　多数の講習会等を行っている場合は、そのうち代表的なものの名称を記載するなど。また、受講生の評価については、「事後のアンケートにより受講生の○○％が理解しやすい講義に満足と回答」などと記載するとよい。 |  | |  |  | | (3) 計量思想の普及 | |  | |  | ①　社員教育等を実施することや講習会の講師等を務めることなどを通して、計量に係る人材の育成又は計量制度（計量単位、指定製造事業者、適正計量管理事業所、計量証明事業者、適正計量や計量管理など）の普及に努めたこと。 |  | | 良い例：  　所属団体（○○団体）において、xxxx年xx月～xxxx年xx月まで○○講習会の講師を務めた。本講演会は毎年4回オンライン開催される。1回あたりの受講者は約○人であり、自薦者本人は本セミナーを通して、これまでに総勢○名の試験合格者を輩出した。  悪い例：  　所属団体において、３年に渡り講習会やセミナーなど様々な場面で講師を務め、幅広い分野で活躍したことで外部企業からも高い満足度を得た。 |  | | ②　計量士として、計量管理業務に従事し、その普及に貢献したこと。 |  | |  |  | | ③　計量関係団体等が行う普及啓発事業（計量記念日のPRイベント、計量管理の講習会など）に関し、内容の企画、関係者との調整、事業の運営管理など、その実施に貢献したこと。 |  | |  |  | | ④　上記①から③以外の計量器の発達、改善に貢献したこと。 |  | |  |  | | (4) 計量に関する研究 | |  | |  | ①　校正方式や測定方法等の計量・計測に関する研究成果が、業界全体に幅広く利用されている計量器の機能の技術革新に貢献をしたこと。 |  | | ○○○○(株)の○○研究所にて研究した成果(○○装置、○○機器、品質管理方法)は、下記測定方法(公定法)に採用され、○○分野の発展に貢献した。  ・○○○○測定方法 (○○○省○○○課)  ・○○○○測定マニュアル(○○○省○○○課) |  | | 1. 計量関係団体等が行う調査、研究等の事業活動に参画し、貢献したこと。 |  | |  |  | | ③　上記の①から②以外の計量に関する研究に優秀な成果を挙げたこと。 |  | |  |  | | (5) 計量行政の運営 | |  | |  | ①　検定、検査など計量法の執行において計量行政に貢献したこと。 |  | |  |  | | ②　計量制度の普及、広報などにおいて計量行政に貢献したこと。 |  | |  |  | | ③　産業技術総合研究所計量研修センターや地方自治体などが行う計量に関する研修会、講習会等で、講師を務めたこと。（自薦者本人が所属する機関、団体が行うものを除く。） |  | |  |  | | ④　全国計量行政会議の常設委員会の委員として貢献したこと。 |  | |  |  | | ⑤　計量行政審議会に関連して、業界や事業者の意見の取り纏めを行うなど、審議会の調査審議に貢献したこと。 |  | |  |  | | ⑥　上記の①から⑤以外の計量行政の運営に貢献したこと。 |  | |  |  | | ６．(6)その他計量の発展 | |  | |  | ①　外国人を日本に受け入れて法定計量分野の技術指導を行うことや海外協力事業の一環で専門家として外国へ派遣されて技術指導を行うなど、国際的な計量の発展に貢献したこと。 |  | |  | 所属団体（○○協会）において、xxxx年xx月からxxxx年xx月まで、○○事業における○○計量分析に関する研究協力として、○○国○○大学に○○実験室を設立した。 |  | |  | ②　上記の（１）から（６）①以外のその他計量の発達に寄与したと認められること。 |  | |  |  |  |   ６．の概要  自身の第一印象となるため、６．(1)～(6)に記載の貢献のうち大きな貢献を中心に200字程度で簡潔に記載する。   |  | | --- | | ６．の概要（200文字程度で） | |  |   （別表）  特許・実用新案等の一覧  特許・実用新案   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 発明の名称 | 取得年月日 | 登録番号 | 取得者（本人/企業） | | ○○○ | xxxx年xx月xx日 | 特開xxxx-xxxxxx | 本人 | | ○○○ | xxxx年xx月xx日 | 実開平xx-xxxxxx | 企業（○○○○(株)） |   記載上の注意  　特許又は実用新案等の取得がある場合は、その件名、取得年月日及び番号を、その他の場合はその内容を記載する。  また、特許などの取得が自身に係るものは「本人」、自身の指示による企業などに係るもの又は企業などの指示よる自身に係るものは「企業」などと区分して記載することとし、計量関係以外のものは記載しない。 | 提出日を記載する。 |  |